

仕事と、わたし。

その強み、
仕事でもっと活かせる。

得意なことを、役立つ場面へ。

あなたの良さが伝わる働き方を見つける、深掘り特集。



Haruka さん

MBTI ENTJ / テーマ：仕事・働き方

1994年10月12日 09時30分 / 東京都・日本

2026年10月号 / アバター A

私って、
けっこういいかも。

自分の強みを知った、その先へ。

全14ページ / 架空の人物の内容見本



Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

01 / YOUR CORE VALUE

答えを出すだけでなく、 進める形をつくれる人。

Harukaさんの仕事の強みは、
「次に何をすればいいか」を見つける力。



頭の中の地図を、人が歩ける道にする

話が散らかったとき、目的・条件・順番を分けて考えられる。あなたの強みを仕事の言葉にすると、「人が動ける状態をつくる力」です。正しい意見を言うだけでなく、今日決めることと、まだ決めなくてよいことを切り分ける。その整理が、周囲の迷う時間を減らし、仕事の入口になります。

決断力に、納得できる形を探す視点を重ねて

この見本では、ENTJを実行と判断、天秤座を異なる立場の調整、数秘9を全体の意味を捉える象徴として読みます。「早く決めたい」と「誰かだけに無理をさせたくない」が同居する人物像です。強さを小さくするより、何のために決めるのかを言葉にすると、あなたらしい進め方が見えてきます。

自分の価値を、忙しさを測らなくていい

難しい仕事を短時間で整理できた日は、頑張りが足りない日ではありません。あなたが見つけた一本の道筋で、何人かが動きやすくなることもあります。長く手を動かした時間だけでなく、迷いを減らしたこと、決めやすくなったことも、あなたが届けた価値です。

あなたがつくっているのは、答えだけでなく「進める」という感覚。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

02 / THREE EVERYDAY GIFTS

その「当たり前」は、 仕事では大きな価値になる。

自分には簡単なことほど、
強みとして数え忘れているかもしれません。



話し合いのあと、自然に順番を決めている

「まず条件を確かめて、そのあと試してみよう」。あなたがいつも添えているその一言は、複雑さを扱う力です。会議を増やさなくても、決まったこと・未決のこと・次の一手を三つに分ければ、周りは動きやすくなります。議事録の長さではなく、次に進める明快さに価値があります。

頼まれたものの、少し先まで見えている

資料をつくるときに、誰がどんな判断に使うかまで考える。見栄えを整えるだけでなく、読む人が選びやすい形にする。それは余計な気回しではなく、成果を受け取る側から考えられる力です。ただし、思いついた改善を全部引き受ける必要はありません。提案することも仕事になります。

違う得意を、同じ目的につなげられる

細部が得意な人、まず試したい人、相手の反応をよく見ている人。違いを欠点にせず、誰にどこを任せるとよいかを考えられるのも持ち味です。人を自分と同じ速さにそろえるより、それぞれの力が必要になる順番をつくる。そんな役割も、あなたの実力の見せ方です。

「自分なら普通にできる」は、強みを見つける入口。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

03 / THE ROLE THAT FITS

肩書きより、 任される場面を選ぶ。

リーダーという名前がなくても、
あなたの強みが生きる仕事はあります。



まだ形がないものを、小さく試す役割

新しい企画の全体像を描き、最初に確かめたいことを一つ選ぶ。そんな役割は、判断と実行をつながたいあなたにとって試す価値があります。最初から大きな責任を負う必要はありません。「試作品を一つ」「相手の反応を三件」のように、確かめる範囲が見える仕事から始められます。

続いている仕事を、もっと良くする役割

すでにある活動でも、繰り返す困りごとを整理したり、人が迷う場所を減らしたりする余地があります。大切なのは、ただ仕事量を引き受けることと、進め方を変えられることを分けること。改善案を出せるか、変化を確かめられるかが、あなたの力を使える条件になります。

今の仕事の中で、先に一度試してみる

職業名だけで向き不向きを決めず、現職や小さな活動の中で「目的を整理する役」「選択肢を並べる役」を一度引き受けてみてください。自然に集中できたか、相手の役に立った実感があったか。その手応えが、次に選びたい役割を考える材料になります。

どんな肩書きかより、どんな場面で自分の力が出るか。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

04 / YOUR BEST CONDITIONS

力を発揮できる場所は、 自分で見つけていい。

合う場所には、
あなたが動きやすくなる条件があります。



目的が見えていて、方法には余地がある

何を良くしたいかは共有されている。そのうえで、手順には工夫できる余地がある。そんな環境なら、Harukaさんの組み立てる力を使いやすそうです。仕事を受けるときに「今回、いちばん大事な結果は何ですか」と確かめるだけでも、力の向け先を選びやすくなります。

判断に必要な情報に、近づける

目的を達成する責任があっても、相手の反応や必要な条件が見えなければ、判断は難しくなります。自分が決める範囲と、確認してから進める範囲を分けておくことが助けに。「ここまでは私が決めてよいですか」と入口で合わせるのは、自由に動くための準備です。

意見の違いを、検討の材料にできる

率直に提案したとき、賛成されることだけが相性の良さではありません。「その案ならここが心配」と具体的に返ってくる相手とは、案を育てられます。今の場所で全部がそろわなくても、一緒に考えられる相手や、一つの小さな裁量から条件を整えていきます。

力が出る条件を知ることは、自分への期待を取り戻すこと。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

05 / MAKE YOUR VALUE VISIBLE

成果を、 あなたの言葉で残す。

上手にできたことを、
なかったことにしないために。



完成品の手前に、あなたの仕事がある

納品物や数字だけが成果として残ると、その前に解いた問題は見えにくくなります。あなたが条件を整理したから決まったこと、入口をそろえたから減った迷い。それも説明してよい仕事です。自分を大きく見せるためではなく、次にどんな役割を任せてほしいかを伝えるために。

「何をしたか」に、「何が変わったか」を添える

たとえば「打ち合わせ資料を作成しました」だけでなく、「三つの案の違いを一枚に整理し、次に試す案を決められました」と残す。これは架空の例ですが、自分の仕事でも、作業と変化をセットにすると持ち味が伝わります。成果がまだ出ていないものは、途中の工夫として正直に分けましょう。

今月は、一件だけ自分の実績にする

長い実績集をつくる必要はありません。困っていたこと、あなたが変えたこと、その後の反応を一件だけ残す。周りにつくった成果なら、その協力も書き添えます。あなたの貢献と誰かの貢献は、どちらも同時に認めてよいものです。

「私がやったこと」を言葉にしても、周りの価値は小さくならない。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

06 / KEEP YOUR STRENGTH

気づける人ほど、 背負いすぎてしまう。

強みを長く使うために、
使う場所を選びましょう。



気づいたことを、全部担当しなくていい

抜けている手順や、放っておくと困りそうなことが見える。そんなとき、自分で埋めるほうが早い場合もあります。でも、気づく力と、その後ずっと対応する役割は別に考えられます。「ここが課題になりそうです。担当を決めませんか」と伝えることでも、十分に力を使えています。

「できる」と「今、引き受ける」を分ける

すぐ答えられることと、今月の大事な仕事を押しのけてよいことは同じではありません。「対応できます。今進めている仕事と、どちらを先にしましょうか」。その確認は消極的な返事ではなく、全体を進めるための判断です。できる人としての信頼を、自分の余裕と両立させてよいのです。

余白を、次の工夫に戻していく

抱えるものを減らした時間は、空白のままでも構いません。少し余裕ができたなら、あなたがもっと試したかった工夫へ。いつも急いで穴を埋めているときには見えなかった選択肢が、戻ってくるかもしれません。頑張りを増やす前に、強みの使い先を一つ選んでみてください。

全部を支える人から、大切なものを進める人へ。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

07 / WORDS THAT OPEN A DOOR

決める速さに、 伝わる入口を。

意見を弱めずに、
相手が参加できる余地をつくれます。



結論に、判断した理由を一つ添える

頭の中で比較が終わっていると、結論だけを伝えたいこともあります。「こちらにします」の前後に、「今回は早く試せることを優先しました」と添えてみてください。相手は、あなたの判断に賛成するだけでなく、その基準で考えてよいかを相談できるようになります。

慎重な相手には、止まっている理由を聞く

動きが遅く見えても、相手にはまだ確認したい条件があるのかもしれません。「進める前に、何がわかると安心ですか」。その問いなら、相手の慎重さを仕事の材料にできます。人格やタイプで相性を決めるより、いま必要な情報がそろっているかに目を向けましょう。

意見が違うときは、選ぶ基準に戻る

「私はこれが良い」「相手は違う」で止まったら、費用・期限・相手への伝わり方など、何を優先するかを一緒に並べます。全部で勝つ案がなくても、今回の目的に合う案は選べます。議論を勝ち負けから選択に戻すことも、Harukaさんの整理する力の使い方です。

相手の意見を聞くことは、自分の判断力を手放すことではない。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

08 / WORKING TOGETHER

人の力を引き出せるのも、 あなたの実力。

一人で進める仕事にも、
誰かと協力する場面にも。



頼むときは、完成した景色を共有する

どこまでできれば十分か、いつ確かめたいか、何に使うものか。最初にこの三つを伝えと、やり方のすべてを指定しなくても相談しやすくなります。違う方法で同じ目的に届いたら、その工夫を受け取ってみてください。あなたの想定を超える道筋に出会う余地になります。

自分が手を動かさなかった成果も受け取る

相手の得意に合う役割を考え、前提をそろえ、困ったときの確認先を用意する。そうして仕事が進んだなら、あなたは何もしていなかったわけではありません。相手の成果を尊重しながら、自分がつくった協力の形も、ひとつの貢献として数えてよいのです。

一人で働いているなら、未来の自分に渡す

今すぐ頼める相手がいなくても、繰り返す判断や手順を短く残すと、次回の自分を助けられます。毎回ゼロから考える部分を一つ減らす。その時間を、新しい発想が必要な仕事へ戻していく。人を増やさなくても、強みを使う配分は変えられます。

全部を自分で行うことだけが、仕事を前へ進める方法ではない。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

09 / OCTOBER 2026

10月は、 増やすより、育てる。

Harukaさんの月テーマは「6」。

仕事でも、続けたいものに力を注ぐ視点を。



今月、あなたの強みを向きたい先

数秘の月テーマ6を、育てる・整える・つなげる象徴として読みます。ENTJの進める力に重ねるなら、新しい担当を次々増やすより、いま進めている仕事を続けやすい形に整えることがヒントに。役割や完成条件を言葉にすることで、あなたの力を必要な場所へ集中させてみましょう。

二つの機会で迷うなら

新しい企画を始める誘いと、手元の企画を仕上げる時間が重なったとしたら。今月は「どちらなら、大切に育てたいものに近づくか」と考える入口を置いてみてください。新しいことを断る月という意味ではありません。実際の期限や条件を優先したうえで、選び方に一つの軸を足すための占いです。

今月の小さな開運アクション

仕事を始める前に、完成の基準を一文だけ共有する。誰かに頼まれたら、その場で全部を約束せず、予定を見て返事をする。結果が出たら、自分が工夫した点を一つ残す。特別な道具より、あなたの強みが無理なく働く入口をつくることを、今月の合図にしてみてください。

2026年の年テーマ5 + 10月 = 15 → 6。この数は占いの象徴として使います。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

10 / WEEKLY WORK THEMES

10月の、強みの使いどころ。

全部を実行する予定表ではありません。
その週に気になる一つを、仕事の小さなヒントに。



10月1〜7日

今月、力を使いたい仕事を一つ選ぶ。

今ある担当を全部並べるより、「今月これを進められたら嬉しい」を一つだけ。
新しい依頼が来たときの、優先順位の目印になります。

10月8〜14日

得意だったことを、一つ受け取る。

12日はHarukaさんの誕生日。最近、自然に整理できた話や、喜ばれた提案を思い出して見て。大きな成果になる前の工夫も、あなたの強みです。

10月15〜21日

役割の境目を、言葉にする。

誰かと進める仕事なら、自分が決める部分と相談する部分を確認。一人の仕事なら、今回はどこまで仕上げるかを決めて、抱える範囲を整えます。

10月22〜28日

成果と、自分の貢献を残す。

作ったものの名前だけでなく、何を考え、どんな変化をつくったかも一言添えて。
自分が力を発揮した場面を、来月の選択に持っていけます。

10月29〜31日

来月、深めたいことを一つ選ぶ。

今月うまくいった工夫の中から、もう一度使いたいものを一つ。月末の数日も、次へ進む準備に使えます。全部を振り返ろうとしなくて大丈夫です。

月末の29〜31日も含めた、5つの期間のヒントです。予定は実際の都合を優先してください。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

11 / A SCENE YOU CAN RECOGNIZE

「私ばかり」を、 役割を選ぶ言葉に。

これは架空の仕事の場面です。
似た経験があれば、使える部分だけを。



場面：打ち合わせが終わるたび、仕事が増える

誰も決めないで、あなたが順番を整理する。担当が空いているので、そのまま引き受ける。結果として仕事は進むけれど、自分がいちばん力を使いたかった企画は後回しになる。ここで必要なのは、気づかないふりをすることより、整理する役と実行する役を分けることかもしれません。

あなたの強みを残す、一つの伝え方

「進め方は私が整理します。Aの作業はどなたにお願いできますか。私がBを進める時間も確保したいです」。自分が担う価値を示し、足りない担当を相談する言葉です。相手の反応によって調整は必要ですが、全部を抱える前に、自分が選びたい役割を置くことはできます。

目指したいのは、あなたの力が生きる変化

もし担当がすぐ決まらなくても、完成の範囲や期限を相談する余地はあります。自分だけが頑張れば間に合う形を、唯一の答えにしないこと。あなたが方向をつくる力を、その場の穴埋めだけで使い切らないこと。それが、この場面で受け取ってほしい一番のヒントです。

「引き受けない」だけでなく、「ここで力を使いたい」を伝えていい。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

12 / NEXT CHAPTER

来月は、 あなたの強みを磨く番。

11月の月テーマは「7」。

経験を、自分の専門性へつなげる視点を。



今月と、同じ話を繰り返すのではなく

10月は、役割と関係を整える読み方でした。11月の数秘テーマ7には、深める・見直す・自分の考えを育てる意味を重ねます。同じHarukaさんの判断力でも、来月は「どんな経験を、自分の方法として残したいか」へ。自分の持ち味を知った先にも、使い方を選ぶ余地があります。

次に深めたい、あなたならではの仕事

たまたまうまくいったと思っていた判断に、繰り返している工夫があるかもしれません。どこを見て決めたか、何を先に確かめたか。その視点を言葉にすると、経験は次にも使える力になります。来月は、数をこなすこと以外の成長にも目を向けてみてください。

今月のあなたに、受け取ってほしいこと

何でもできる人になる必要はありません。自分が自然にできることを知って、その力が役に立つ場所を選ぶ。Harukaさんの判断力や整理する力は、誰かを動かすためだけでなく、自分が望む働き方に近づくためにも使えます。「私って、けっこういいかも」と思えた一文を、次の一步に持って行ってください。

自分の良さを知ること、次に何を選ぶかの力になる。

Harukaさん | ENTJ

1994年10月12日 09:30 / 東京都・日本 / アバター A

READING NOTES

この一冊について

あなたを決めつけるための本ではありません

これは架空のHarukaさんのためにつくった内容見本です。本文の仕事の場面は実体験ではありません。MBTIの特徴と占星術・数秘術の象徴を重ねた、自己理解のためのオリジナルの読みものです。当てはまらない部分より、今の自分に役立つ一文を選んでください。

入力情報から、この見本で使ったもの

自己申告のENTJ、1994年10月12日生まれの天秤座、生年月日の数字和27を一桁にした数秘9を使っています。年テーマは $10 + 12 + (2 + 0 + 2 + 6) = 32 \rightarrow 5$ 。10月は $5 + 10 = 15 \rightarrow 6$ 、11月は $5 + 11 = 16 \rightarrow 7$ 。本書では11・22・33も一桁にする方式で、年は1月1日に切り替えます。

計算した数と、文章の意味づけは別のものです

数秘の計算結果をもとに、月テーマ6を育てる・整える、7を深める象徴として編集しています。週間の行動提案はその月テーマに沿った独自の編集です。出生時刻・出生地はプロフィールに表示していますが、この仕事特集の本文では時刻・場所に依存する天体項目を使っていません。

仕事の選択には、現実の条件も一緒に

MBTIの公式診断や適性検査ではなく、能力・評価・昇進・転職の成功を測定、予測、保証するものではありません。職業や人間関係をタイプだけで決めず、実際の経験・希望・生活条件と照らし合わせてお楽しみください。

月の運勢と、一緒に楽しむ特集として

このPDFは、月額1,500円プランの仕事・働き方の深掘り部分をまとめた見本です。仕事・恋愛・家族・自信など10テーマから、希望の一つをお選びいただけます。毎月のお届けでは、月の運勢・運勢カレンダー・週間占いと、選んだテーマの特集を、一冊の月のレターにまとめて収録します。